

秋晴れのすがすがしい毎日ですが、皆様にはお変わりなくお過ごしのことと存じます。

日頃は何かとお世話になり誠にありがとうございます。

11月に開催します展覧会のご案内を申し上げます。

6日から1階は井手本貴子さんの初個展です。自然をモチーフにし、人柄が滲み出た優しくあたたかい色彩の日本画は観る者をそっと包んでくれます。

2階の方は、個展は久しぶりとおっしゃる松石俊夫さんのミクストメディアによる作品展です。制作に時間が多くかかりますが、ぶれることなく自分の世界を丁寧に仕上げた作品です。初日、夕刻より生演奏も予定しております。

13日から1階、2階両方を使って木代喜司さんの立体作品展です。様々な素材を使用し、命を吹き込んだ作品からは、豊かな愛や祈りを感じさせます。恵風では、約3年ぶりの個展です。

20日からは1, 2階で、今回5回目となります三人の絵画展(日下部直起、蛭田均、山本桂右)です。小品から大作までベテランの響き合いが楽しみです。

27日から、1階は武田あずみさんの銅版画展です。昨年、大学院卒業後、自宅で制作を始めました。彼女からは想像できないブラックユーモアをどこで学んだのでしょうか。不思議なお話の世界へ誘い出してくれます。

2階は将来が期待される谷内春子さんの初個展です。現在大学の博士課程で日本画を研究しています。ドキドキしながらの発表、エールをお願いします。京都市美術館で開催されます創画展(10/30-11/11)に入選されましたのでこちらもご覧くださいませ。

今月も芸術の秋にふさわしい展覧会がそろいました。皆様のご来場をこころよりお待ち申し上げます。

敬具
野村恵子

※お知らせ

恵風の南隣りに有料パーキングができました。

40分200円です。ご利用下さいませ。

楽しい企画、展覧会のご感想やご意見・ご要望などございましたら、ぜひお聞かせ下さい。今後の活動に生かしていきたいと存じます。

発行日 2012年10月20日
発行人 野村 恵子
発行 ガallery 恵風
〒606-8392
京都市左京区丸太町通東大路東入ル南側
TEL: 075-771-1011
FAX: 075-771-0358
E-mail: g-keifu@hotmail.co.jp
URL: http://keifu.blog86.fc2.com

1F

11月6日(火) - 11月11日(日)

井手本 貴子 展

かげぼうし

今をいきているはずが、時々なつかしい過去に舞戻ったような気持ちになることがある。

当時は立ち止まる事ができなかった、置き忘れてしまったもの(感覚)を、

再び、絵の中で輝かせ、私自身の未来へと繋げていく。(井手本)

井手本 貴子 IDEMOTO Takako

1981 広島県に生まれる

2007 京都市立芸術大学大学院美術研究科絵画専攻 日本画 修了

現在 京都市立芸術大学 非常勤講師(日本画) 創画会准会員

<主な展示>

2005 春季創画展 入選(同06~12年 06,10年春季展賞)

創画展 入選(同06~08、10,11年 10年創画会賞)

2006 筍々会展(京都文化芸術会館 同07、08年)

上野の森美術館大賞展 入選

はなび展(画廊後素堂/京都 画廊ピーナス/京都 同09年)

2010 CLASS 展(大丸心斎橋店/大阪)

2011 後素展(画廊後素堂/京都)

2012 第四回京都日本画新展(美術館「えき」KYOTO/京都)

MEISEI 若手作家選抜展(Art Space MEISEI/京都)

第8回菅彦大賞展(京都文化博物館/京都 倉吉博物館/鳥取)

2F

11月6日(火) - 11月11日(日)

松石 俊夫 展

SHIPS VOID - 虚ろな船 -

数軒並んだ丸太町通りの古本屋へ 学生のころよく足を運びました。当時一冊10円・うず高く積まれた朝日ジャーナルという雑誌が目当てでした。掲載されている文章よりもそのなかの僅かなグラビアページがモノプリント(一枚版画)の題材として必要だったからです。

10冊~20冊と選び求め大阪へ持ち帰りました。

大きな段ボール4箱にぎっしりおさまるほどになりました。

今表現スタイルはすっかりわかりましたが、制作の基本姿勢はその頃とかわっていないと思っています。(松石)

松石 俊夫 MATSUISHI Toshio

1949年 大阪生まれ

1974年 信濃橋画廊個展(大阪)

1985年 ギャラリー クオーレ個展(大阪)

2003年 大阪府立現代美術センター個展

2005年 アクサン ギャラリー個展(大阪)

2009年 CASO(大阪) グループ展参加

その他毎年グループ展参加

1998年~ 京都聖母女学院短期大学 非常勤講師

1F + 2F

11月13日(火) - 11月18日(日)

木代 喜司 作品展

素材と向きあい、手に触れた時、イメージが生まれます。

展覧会ぎりぎりにならないと作品ができないので、どんなものができるのかわかりませんが、土、紙、石膏、樹脂などの素材が出してくれる表情の楽しさを皆さんに御覧いただければと思います。(木代)

木代 喜司 KISHIRO Yoshiji

1940年 京都生まれ

1963年 京都学芸大学美術工芸専攻科修了

1965年 日展入選

1981年 日展特選('82)

1990年 日展会員

2001年 京都美術文化賞

2001~03年 夏の全国高等学校野球選手権大会 メダル制作

2003年 京都教育大学教授を定年退官する

同大学名誉教授となる

2005年 コンスタンチン・ブランクーシ賞受賞

2005年 日展評議員

1F + 2F

11月20日(火) - 11月25日(日)

第5回 三人の絵画展

日下部直起・蛭田均・山本桂右

京都在住の3人の絵描きによる展覧会です。2年に一度づつの開催で今回で5回目になります。3人とも50代前半で蛭田は新制作協会、日下部は二紀会、山本は日本版画協会と白日に所属し普段は別々に活動していますが、この三人展は私たちにとってお互いの進捗状況を確認しつつ未来に向けての方向性を考える一里塚のような存在になりつつあるように思います。今回は1, 2階両方を使っての展示となりますので3人とも意欲的な作品を出すつもりです。たくさんの方のご来場をお待ちいたしております。(一同)

■日下部 直起 KUSAKABE Naoki

- 1959年 京都生まれ。
- 1982年 金沢美術工芸大学油絵科卒。
- 1995年 東京セントラル美術館油絵大賞展佳作賞。
- 1996年 昭和会展(日動画廊)(03~06年)。
- 1997年 二紀展二紀賞(99年同人優賞、01年宮本賞、02年損保ジャパン美術財団奨励賞、05年会員賞、11年会員優賞)。
- 2000年 伊豆美術祭絵画公募展佳作賞(01、02年佳作賞)。
- 2001年 文化庁現代美術選抜展。
- 2004年 文化庁芸術家在外研修(フィレンツェ)。
- 2006年 LIONCEAUX展(日本橋三越本店)(07~10年)。
- 2009年、12年 個展(日本橋三越本店) 二紀会会員

■蛭田 均 HIRUTA Hitoshi

- 1957年 栃木生まれ。
- 1978年 嵯峨美術短期大学卒。
- 1981年 新制作展出品以後毎年(87、88、90、91年新作家賞)。
- 1991年 安井賞展(93、95年)。
- 1993年 IMA「絵画の今日」展(新宿三越美術館 95、97年)。
伊藤廉記念賞展(賛助出品)。
- 1994年 京都市芸術新人賞。
- 1995年 個展(日本橋三越本店 02年)。前田寛治大賞展準大賞。
個展(高島屋・京都 98、01、06年)。
- 1999~00年 文化庁芸術家在外研修員(パリ)。
- 1999年 金山平三記念美術展(兵庫県立近代美術館)。
- 2003年 DOMANI明日展。
- 2005年 昭和会展昭和会賞(日動画廊)。
新制作協会会員

■山本 桂右 YAMAMOTO Keisuke

- 1961年 大阪生まれ。
- 1986年 金沢美術工芸大学大学院修了。
- 1993年 さっぽろ国際現代版画ビエンナーレ大賞。
- 1995~96年 文化庁芸術家在外研修員(ローマ)。
- 2001年 中華民国国際版画、素描ビエンナーレ銅賞。
- 2002年 高知国際版画トリエンナーレ佳作賞。
- 2003年 北京国際版画ビエンナーレ銅賞。
- 2004年 昭和会展優秀賞。
- 2007年 GUANLAN国際版画ビエンナーレ受賞。
- 2009年 SPACE国際版画ビエンナーレ、ソウル優秀賞。
日本版画協会会員

1F

11月27日(火) - 12月2日(日)

武田 あずみ 個展

27時のおやつ

うっかり27時である。

晩からさらに掛けて、いよいよ口寂しい。

空腹ではないが、ただもの足りなく、何か口に運びたい。

例えば、甘さを匂わせ、適度に味気なく、

延々口に含めても、胃の腑にまでは達しない、うってつけの、

何かないだろうか。(武田)

武田あずみ TAKEDA Azumi

- 1986年 静岡生まれ
- 2009年 京都造形芸術大学 版表現 卒業
- 2010年 二人展 [10の言葉と2の話] (アーツスペース虹)
日本・ポーランド国際版画展 (京都市美術館別館/奨励賞)
第78回 版画展 (京都市美術館/賞候補)
- 2011年 同大学大学院 修了
武田あずみ展 [夜更かし備忘録] (ギャラリーヒルゲート)
版画四人展 (ギャラリー恵風)
第79回 版画展 (京都市美術館/賞候補・準会員推荐)
武田あずみ展 [よいっばりのたしなみ] (エポケカフェ)
- 2012年 武田あずみ個展 (十一月画廊)

2F

11月27日(火) - 12月2日(日)

谷内 春子 展

grassland - 草原 -

草原について

幼い頃、近くの空き地の、草むらとも言われそうな草原のなかを、探検だといって分け入っていたような記憶があります。

草いきれ、バッタが驚いて飛ぶ音や、風に草がこすれて鳴る音、そして、空だけがぼっかりとのどかに広がって鳥が飛んでいる。

どこか懐かしい匂いのする草原という言葉は、今の自分にはぴったりだと思えます。

今もまだ、草原のなかを探検しているようで、遊んでいるようで、どこかまだ見聞場所にたどり着くようにと願いながら、歩を進めたいと思っています。(谷内)

谷内春子 TANIUCHI Haruko

- 2011 京都市立芸術大学大学院修士課程日本画 修了
現在 同学 博士(後期)課程日本画領域 在籍
- 2005~08 天若湖アートプロジェクト (南丹市)
- 2009 「みる。」二人展 ギャラリー恵風 (京都)
「ART UNIV. 2009」むろまちアートコート (京都)
- 2010 京都銀行「美術教育支援制度」選定/作品買取
「京都芸大日本画の現在Ⅱ」堀川御池ギャラリー@KCUAⅡ
「二人展」京都市立芸術大学内小ギャラリー (京都)
- 2011 「日本画四人展」美山里山舎(美山町)
第38回創画展
- 2012 上野の森美術大賞展
第38回京都春季創画展
「ギャラリーへ行こう2012」数寄和(東京・大津)
数寄和賞受賞
第39回創画展

ひとり言

先日、ノーベル医学生理学賞にips細胞の研究で山中伸弥さんが受賞されたという明るいニュースが伝えられました。その後インタビューで山中教授が挫折を乗り越え費やした膨大な研究人生を、謙虚にたんたんと語る姿が印象的でした。病気の人を一刻も早く救いたいという使命感が研究の原動力になったと氏が言った時、なぜか京都国立近代美術館で観た高橋由一展とリンクしてしまいました。近代洋画の開拓者といわれる彼は、絵が好きで画家になるという甘い考えでなく洋画を普及するのが自分の果たすべき使命という自負を持って活動したということです。時代を動かす人物とは弛まぬ努力を惜しまない強い意志と使命感を持った人なのかもしれませんね。では、今のアートの世界では?と考えてしまいました。(野村)

今後の展覧会 →

1F

12/4~12/9 森田 孝夫 展

12/11~12/23 「日本画の色」
material, matter, mind
天然絵具と京都オパールの可能性
2012京都市立芸術大学特別研究助成
小池一範 川嶋 渉 織田涼子 齋藤雅恵
上坂秀明 武部翔子 服部しほり
研究協力:京セラ株式会社

12/24~1/14 冬季休廊

2F

12/4~12/9 1Fと同じ

12/11~12/23 漆の飾り 展
安東智香 栗本夏樹 佐々木友恵

12/24~1/14 冬季休廊
お楽しみに!



OPEN 12:00~19:00 (最終日 18:00 まで)
月曜休廊

ACCESS 市バス 熊野神社前 下車すぐ
京阪神宮丸太町駅より徒歩 5 分
京都市美術館より徒歩 7 分

